

# 天神川水系流域治水プロジェクト（素案）

～急流河川に備え、未来の営みを守るプロジェクト・「清流 天神川」事前防災対策の推進～

○ 令和元年東日本台風では、戦後最大を超える洪水により甚大な被害が発生したことを踏まえ、天神川水系においても、事前防災対策を進める必要があることから、以下の取り組みを実施していくことで、戦後最大の昭和34年伊勢湾台風と同規模の洪水を安全に流し、流域における浸水被害の軽減を図る。

## 位置図



## ■河川における対策

国の対策内容 河道掘削、堤防整備、堤防・河岸浸食対策 等

※今後、関係機関と連携し、県管理区間の河川改修を追加予定

## ■流域における対策のイメージ

- ・下水道等の排水施設、雨水貯留施設の整備
- ・土地利用規制・誘導（災害危険区域等） 等

※今後、関係機関と連携し対策検討

## ■ソフト対策のイメージ

- ・水位計・監視カメラの設置
- ・マイ・タイムラインの作成 等

※今後、関係機関と連携し対策検討

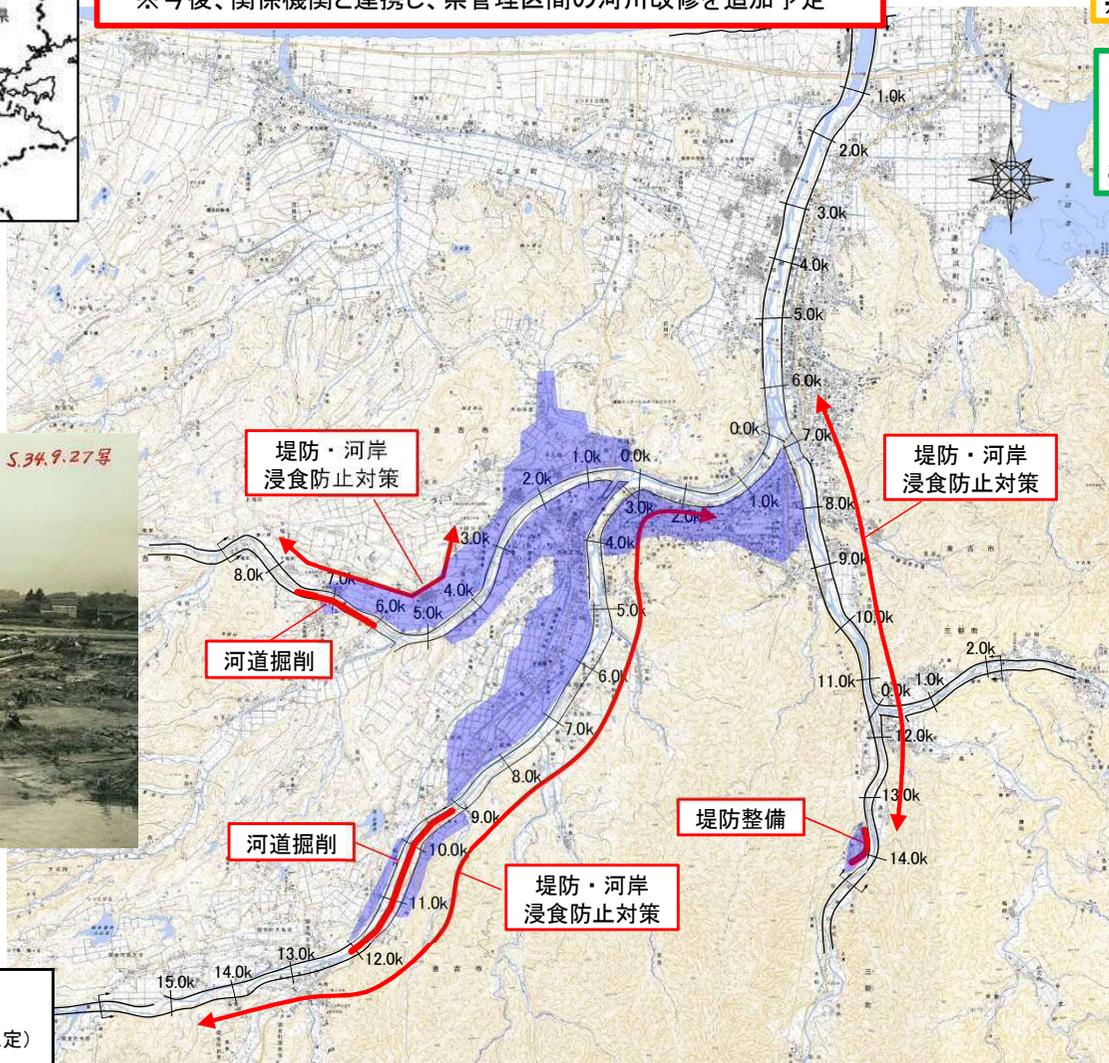
家屋被害135戸

5.34.9.27号



堤内地

昭和34年伊勢湾台風洪水  
倉吉市関金地区の破堤状況



## 凡例

■ 浸水想定範囲（昭和34年9月洪水と同規模想定）

↔ 大臣管理区間

※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。